



LINE公式アカウント
組合のお得な!
情報をゲットを
ぜひ登録を
願ひしませ



発行所
東京土建一般労働組合三鷹武蔵野支部
東京都三鷹市上連雀7-33-8
電話 0422(47)9101
Fax 0422(47)9104
発行責任者 竹内 敦

春の拡大迫る 組織強化と加入の両輪で

【組織部発】春の拡大運動が4月より始まります。今年には2000人支部復帰3力年計画の2年目で、春の拡大は最初の山場です。基礎組織の活性化と仲間増やしを両輪で進めていく運動の為に、春の拡大が始まる前に分会での意思統一を固め、すべての分会・群で運動を活性化させる必要がありま



昨年春の武蔵野中央レクの様子

春の拡大月間の目標

分会	1月現勢	4.0%目標
井の頭	38	2
牟礼北野	196	9
新川中原	157	8
連雀	225	9
深大寺	98	5
大沢	143	6
吉祥寺	110	5
武蔵野中央	318	13
関前	132	6
境南町	47	2
直・事	513	14
合計	1,977	79

5月の健康診断を話題の種にも対応頂けると幸いです。

資格確認書交付方法に変更

必ず交付会に参加を

2026年4月1日(2027年3月31日)分の資格確認書(資格情報のお知らせ)と健康診断受診券の交付について、今年度より大きな変更があります。これまで各分会が設定する交付会にてお渡ししていただきました。交付会に参加できなかった場合は各群長さんが取りに行ける日までお預かりしていましたが、東京都から指導があり、規定が変更となりました。その為、交付会に参加できない仲間の資格確認書については支部預かりとなります。交付会を受け取れなかった場合は4月6日(月)以降から支部にてお渡します。必ず群会議で納入をし、万が一納入

資格確認書等交付会 会場一覧

- ◆井の頭 [と き] 3月28日(土) 午後6時30分~7時30分
[と ころ] 内藤設備内
- ◇牟礼北野 [と き] 3月29日(日) 午後3時00分~
[と ころ] 北野公会堂
- ◆新川中原 [と き] 3月29日(日) 午後1時00分~2時00分
[と ころ] 新中コミセン
- ◇連雀 [と き] 3月29日(日) 午後1時00分~2時00分
[と ころ] 三鷹市公会堂さんさん館
- ◆深大寺 [と き] 3月29日(日) 午後3時00分~
[と ころ] 深大寺公会堂
- ◇大沢 [と き] 3月29日(日) 午後2時00分~
[と ころ] 下原地区公会堂
- ◆吉祥寺 [と き] 3月30日(月) 午後7時00分~8時00分
[と ころ] 中央コミセン
- ◇武蔵野中央 [と き] 3月30日(月)31日(火) 共に午後5時00分~午後8時00分
[と ころ] クリーンライフ内
- ◆関前 [と き] 3月30日(月) 午後6時00分~午後8時00分
[と ころ] 関前コミセン
- ◇境南町 [と き] 3月28日(土) 午後7時30分~
[と ころ] 境南コミセン

労災更新始まります

【労働対策部発】一人親方労災の更新、事業主特別加入の脱退・日額変更手続きが始まっています。対象者に個別に書類を送付しました。変更が無い方については送付の書類を支部にFAXしていただき、指定口座に振り込みを頂くことで更新手続きを完了することが出来ます。ただし、日額変更を行う場合は下記日程での来所手続きをお願いします。

[と き] 3月17日(火) 18日(水)、25日(水)、26日(木)
[と ころ] 支部会館

[対 象] 一人親方労災の日額変更、事業主特別加入の変更脱退等の手続きを行う仲間

[注意事項]

- ①事業主特別加入をやめる場合は上記日程に手続きを行わないと保険料が発生します。
- ②給付日額の変更を行う場合は上記日程で手続きを取らないと7月以降の変更となります。
- ③賠償保険の更新は売り上げのわかる書類(収支内訳書・決算書等)が無いと更新手続きがとれません。

基礎日額を実態に合わせよう

一人親方労災・事業主特別加入をしている仲間の半数以上は日額を5,000円に設定をしています。ただ、実際に労災事故に遭って働けなくなった場合日額の約8割しか給付を受けない事ができません。実態に合った日額設定を行い、労災事故に備えるように、変更を検討してください。



雑記林

寒さの中にも春の気配が近づき、柔らかな日差しに心が和む季節となりました。しかし世界に目を向ければ、2022年に始まったロシアのウクライナ侵攻は4度の春を超えても収束の兆しが見えず、ロシア軍の死傷者は約120万人に達すると推計されています。▼戦争の影響は子ども達にも及び、2022年のミサイル攻撃で全身にやけどを負った8歳の男の子は、ドイツでの治療を経て帰国しました。身体表面の4割、内部の3割に及ぶ重傷で30以上の手術を乗り越え、リハビリが続いています。それでも学校生活を楽しみながら、自身の体験を語り世界に戦争の現実を訴える活動を始め、すでに10カ国以上を訪れました。突然の爆発、がれきの下で見た母の最期、つらい治療の日々。話すことが怖くなる瞬間もある中で、「ウクライナにはまだ戦争がある」と伝えるために立ち続けています。▼身体にも心にも深い傷を抱えた子どもが頼れる親もいないまま一日千秋の思いで「早く戦争を止めてください」と訴えているのです。冬が終わり、春が来て、この子の心の傷が癒える日は遠いかもしれませんが、▼そして今、アメリカとイランの間で戦争に突入してしまいました。親を亡くし深く傷つき、痛む子ども達が増えていく事が悲しいです。

